

「製品事故から身を守るために<身・守りハンドブック>」の発行について

NITE(ナイト:独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長:御園生 誠、本部:東京都渋谷区)は、消費生活用製品による事故から身を守るための消費者啓発用冊子「製品事故から身を守るために<身・守りハンドブック>」を3月31日に発行しました。NITEでは、今後、本書の内容について消費者を中心に普及啓発していきます。

1. 本書の経緯

NITEのこの数年間の事故動向解析結果において、消費生活用製品に係る事故は、設計ミスや製造不良など、製品自体に問題があって発生する事故だけでなく、消費者の誤った使い方(誤使用)や不注意によって起こる事故が多く発生していることがわかりました。

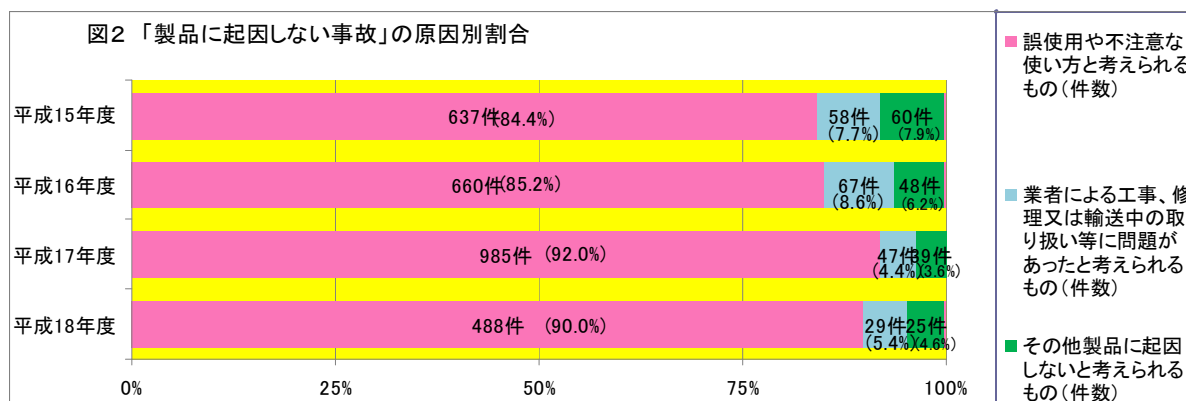
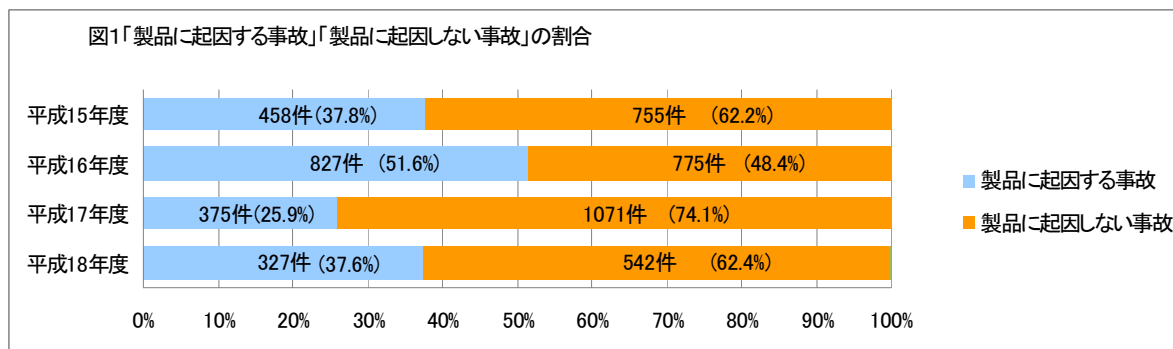
このたび発行する消費者啓発用冊子「製品事故から身を守るために<身・守りハンドブック>」(本文37ページ)は、これまで発生した事故事例を取り上げ、「事故原因」「製品を扱う上での注意事項」等をより分かりやすく説明し、製品と安全につきあうための心構えをまとめたものです。NITEは、本書を活用し、消費者が製品事故から身を守るための情報提供及び周知徹底を図るべく積極的な普及活動を行っていきます。

2. 本書の概要

平成15年度から平成18年度まで、NITEが収集調査した事故情報のうち、事故原因が特定されたもの(平成19年6月11日時点)を、「製品に起因する事故」と「製品に起因しない事故」に区分すると、その件数の割合は、約半数以上が「製品に起因しない事故」でした(下図)。

また、「製品に起因しない事故」の中には、消費者の誤使用・不注意による事故も数多く含まれており、これは消費者が製品を使用する際に注意することで防げる事故が少ないことを示しています。

このことより、繰り返し発生している事故や新しく市場に登場した製品により発生した事故等49件の事例を取り上げ、生活場面(キッチン・ダイニング、浴室・洗面・トイレ、リビング・書斎、寝室、屋外・レジャー)ごとに、事故内容や事故原因、さらに製品を使用する上で注意すべき事柄など、製品と安全につきあうための心構えをまとめました。



3. 今後の普及啓発方法

(1) 本書を PDF ファイルで無償提供

4月7日より、NITEホームページから下記のアドレスでダウンロードが可能。

http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou_handbook.pdf

(2) 消費生活センターや公益法人、行政機関等に配布

消費者相談窓口となっている消費生活センター、公益法人、行政機関等に4月7日より配布を開始し、本書の普及啓発を行う。

(3) 全国で開催予定の経済産業省主催の製品安全点検日セミナーにおいて配布

今年度は、東京・大阪のみならず、全国展開を予定している製品安全点検日セミナーにおいて配布し、普及啓発を行う。

(4) 消費生活センター等主催の一般消費者対象のセミナーにおける啓発

消費生活センター等における一般消費者を対象としたセミナーで普及啓発を行うよう働きかけを行う。

(本件に関する問い合わせ先)

独立行政法人製品評価技術基盤機構
 生活・福祉技術センター 製品安全企画課
 担当者 : 佐々木、小田
 電話 : 06-6942-1113